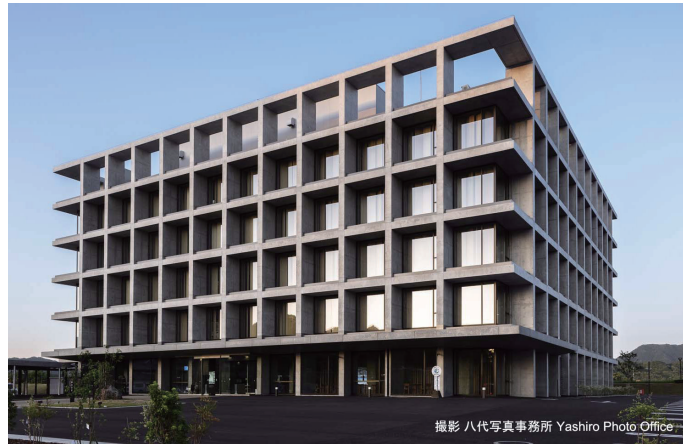


嘉麻市役所本庁舎

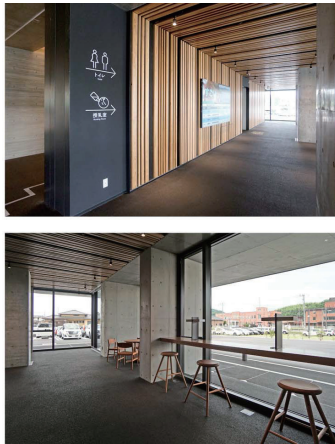


外観

福岡県の中央に位置する、嘉麻市の本庁舎。建物全体の設計を正方形の平面、階高圧縮（基準階高3600mm）によるコンパクトな建物形状にすることで大幅なコスト縮減が実現した。



メインエントランス



1F西側メインエントランスには、ロボットによるご案内と、学生が学習などで時間外利用も可能なラウンジを設置。地域産材の木ルーバーを壁や天井に用い、地元指物木工職人の家具を配置するなど地域特色を生かした。



1F中央 吹き抜けサイン



中央吹き抜け空間には、施設内容に対応するさまざまな番号を壁に掲示。一般的な吊り下げたサイン表示ではなく、ひと目で位置がわかるサインウォールにしている。災害時、天井の落下をなくするため吊り天井を廃止した。



1Fトイレ前通路・サイン



床はゴムチップ舗装とし、競技場トラックのような歩行感と滑りにくさ、吸音にこだわった。サイン上部の照明は、地元ガラス職人とのコラボレーションにより、地元酒造の廃瓶を再利用して作られたもの。



1F男性トイレ 全体

硬質な庁舎感を払拭するため、あえて木の温かみと黒を基調とした、スタイリッシュな空間に仕上げている。白い器具との対比が映えている。



1F男性トイレ
洗面コーナー



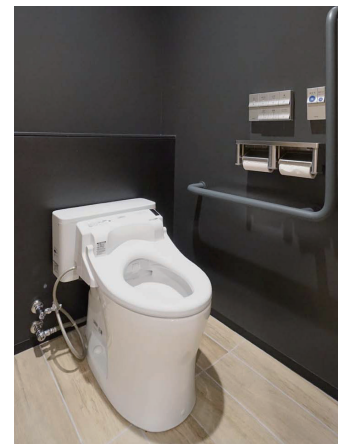
洗面カウンターは、清掃性に優れ、水濡れを心配せずに荷物を置くことができる、ボウル一体タイプのツインデッキカウンターを採用。スタイリングコーナー、姿見も設置され、身だしなみ配慮を充実させている。



1F男性トイレ
小便器コーナー



低リップタイプの自動洗浄小便器を採用。小便器の足元には、尿の飛散によるにおいや汚れを軽減する、ハイドロセラ・フロアPUを設置。正面には携帯電話などを一時置きできる棚を、ライニングとは別に用意している。



1F男性トイレ
ひろびろブース



お子様連れに配慮し、ベビーチェアやフィッティングボードを備えた「ひろびろブース」も設けられている。



1F女性トイレ 全体

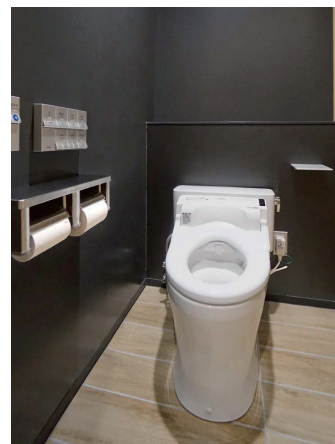
男性トイレと同様コンクリート打ちっぱなしの壁と木を多用し、効果的に黒をアクセントとするクール&ウォームな空間。スタイリングコーナーは、空間に溶け込む一体感ある作りになっている。



1F女性トイレ
スタイリングコーナー



空間と一体感を持つスタイリングコーナー。対面となる洗面カウンターとは通常あわせ鏡となるが、コーナー全体の角度を変えることで違和感なく使える。また天井まで貼りこまれた出口の姿見は、空間を広く見せている。



1F女性トイレ
大便器ブース



黒を基調としたブース内と白い器具のコントラストにより、弱視の方にも使いやすい空間とした。また、棚付紙巻器とは別に小物置棚を設け、手荷物にきめ細やかな配慮がなされている。



1F女性トイレ
ひろびろブース



「ひろびろブース」はお子様と利用しても十分な広さを確保。乳幼児連れを想定しベビーチェアのほかに折りたたみ式のフィッティングボードを設置し、パンツ型のおむつ交換などに利用できる。

嘉麻市役所本庁舎



1F多機能トイレ



車いす使用者やオストメイトなどさまざまな利用者を想定して、コンパクト多機能トイレパックを採用。ベビーシートやベビーチェアも完備している。



基準階トイレ前 通路

室内温度の空調補助として窓一面に木ブラインドを設置。差し込む日差しにあわせ自在に角度を変えることができる。足元のグレーチングには照明を埋め込み、夜はライトアップを楽しめる。



展望テラス

展望テラスからは、緑豊かな田畑や季節折々の表情を見せる遠賀川を望むことができる。職員の休憩場所としても有効に活用されている。



基準階トイレ 入口サイン



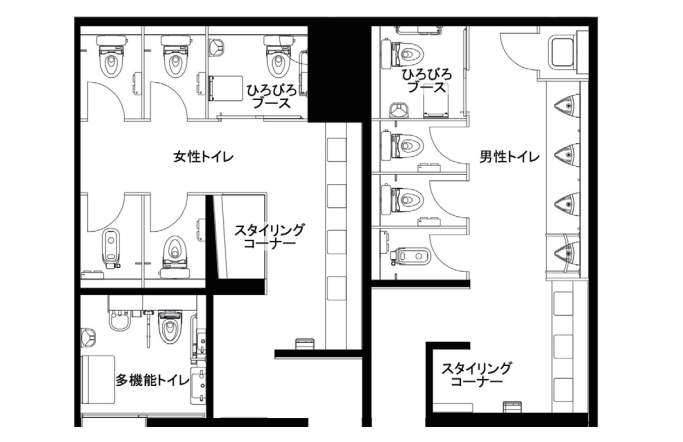
事前にすべての部署にヒアリングを実施し、性的マイノリティへの配慮として、赤や青といった一般的な原色ではなく、嘉麻市シンボルの桜を参考に朱色と緑を採用。やわらかな色調とわかりやすさを実現している。



基準階男性トイレ 洗面コーナー



基準階のトイレは、フロアの主な使用目的に応じて内装を変えている。2～3Fは市民窓口があるため、やわらかい明るい色に、4F～5Fは執行部の利用場面を想定し落ち着いたインテリアにしている。



1Fトイレ図面

男女トイレそれぞれに「ひろびろブース」を設け、お子様連れでも安心して利用できる。また、女性スタイリングコーナーは鏡に角度をつけ、あわせ鏡でも違和感なく使えるように配慮している。



基準階女性トイレ 洗面コーナー



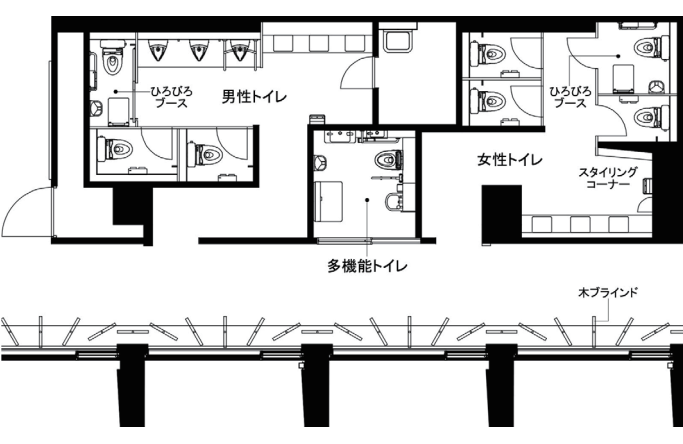
女性トイレのスタイリングコーナーも、ほかのフロア同様、気になる対面の洗面カウンターとのあわせ鏡をコーナー全体の角度を変えることで、違和感なく使えるよう仕上っている。



基準階トイレ ひろびろブース



お子様連れに配慮し、ベビーチェアやフィッティングボードを備えた「ひろびろブース」を設置している。



基準階トイレ図面

男女トイレ共にお子様連れへの配慮として「ひろびろブース」を設置。車いす使用者やオストメイトに配慮して、オストメイト対応トイレパックを備えた多機能トイレをすべてのフロアに完備している。

水まわりの特長

建物の特徴

福岡県「嘉麻市」は、山田市、稲築町、碓井町、嘉穂町の合併により2006(平成18)年3月に誕生。厳しい財政状況の中での新市誕生であったため、新庁舎建設計画では、第一にイニシャルコストの縮減が求められた。そこで建物全体の設計を正方形の平面、階高圧縮(基準階高3600mm)によるコンパクトな建物形状にすることで大幅なコスト縮減が実現。既視感のない新しい市庁舎建設と、随所に地域産材を用いた内装に、地域に根付いた工夫が見られる。さらに、防災拠点としての安心・安全性の確保、市の特性を生かしたデザイン性や機能性が評価され『第33回日経ニューオフィス賞』において「九州・沖縄ニューオフィス推進賞」および九州・沖縄ブロックにて最高賞にあたる「九州経済産業局長賞」を受賞している。

水まわりの特長

市民に一番利用されることが多い1F、さらに、基準階となる2-5F部分もすべて同仕様とするのではなく、フロアの特徴にあわせ内装で変化をつけている。特に、1Fトイレでは遠くからでも認識しやすいサインを選定し、そのサイン上部にある照明器具は、地元ガラス職人とのコラボレーションにより地元酒造の廃瓶を利用、趣のある雰囲気醸し出している。各階のトイレに設置したスタイリングコーナーはトイレブースと一体感あるデザインとし、鏡の設置角度などにも工夫が見られる仕上がりとなっている。採用器具は衛生的でシンプル、コンパクト性にもこだわり選定。

建築概要

名称	嘉麻市役所本庁舎
所在地	福岡県嘉麻市岩崎1180-1
施主	嘉麻市
設計	株式会社久米設計
施工	株式会社浅沼組
竣工年月	2020年3月
敷地面積	22,472.98㎡
建築面積	2,760.74㎡
延床面積	9,652.99㎡
構造・階数	鉄筋コンクリート造(一部鉄骨造)・地上6階

おもなTOTO使用機器

パブリックコンパクト便器・フラッシュタンク式:CFS497B
ウォシュレットPS (擬音装置「音姫」付きエコリモコン):TCF5533AYR
棚付二連紙巻器:YH701
自動洗浄小便器:UFS900WR
ハイドロセラ・フロアPU:AB690
ツインデッキカウンター(ボウル一体タイプ):MKWE
コンパクト多機能トイレパック:UADAK21R2A1ADD2W
ベビーシート:YKA25R
ベビーチェア:YKA15R
フィッティングボード:YKA41
アルミ化粧柵:YKH50A